

想ふに、方針の確立は過去の経験の厳正な批判と総合と客観的形勢の認識から、出發しなければならぬ。特に団体、過去のいさ、かの過誤に對しても厳正なる態度をとるべきが、大衆団体の義務である。過誤も公然と承認し、その原因を究明し、これを匡正する手段を吟味すること、即ち誠實な行動する大衆的労働組合の部号であり、階級的義務の履行である。我々は今過去の我が組合の運動方針及び戦術を点検して、少くも次の数項に過誤を認め、この点に關し、將來の運動方針と戦術の上に一般組合員の注意を喚起しなければならぬ。

(1) 正しき意見及び理論が実行に移されるに重要なことは、それが現実と充分に適合してゐることである。時と所に於ける客観的形勢

を輕視して、正しき意見を直ちに大衆の前に提議しよすれば、大衆の理解と得、かくて大衆を訓練することか出來ると考へるのは、明かに充分なる考へ方である。過去に於て若干の考へ方の過誤が、我等の方針と政策の遂行に阻害した。(例へば方針及び政策の遂行に)

(4) 中央集権的組織を主張し乍らも、實際組織は極めて地方分権的であつた。(例へば、支部組織等)

(5) 集中の計画的組織運動が行はれずに、比てか偶然的要素に支配されてゐた。(例へば、未組織労働者の組織等)

(6) 争議等の日常闘争に於て、客観的形勢よりも、熱情の希望によつて支配されることか往々あつた。(例へば、隔田川精鉄所争議等)

(7) 日常生活を擁護する行動を通じてこの

訓練と大衆の潜在的不満を自発的に引き出し、意識的階級の不平に統一してゆくことが不十分であつた。(例へば教育訓練の上に)

(1) 概念的教育に偏して、行動による技術的経験と体系づけて教育することに不十分であつた。(例へば指導者養成の上に)

(2) 協同戦線の必要を強調し、協同戦線の具體的實現に努力して、相当の成果を収めたが、尚ほ充分な成績を収め得なかつたのは、協同戦線達成の上の條件なる日常生活に關連する具體的行動に不十分な点があつた。(例へば同一産業界のストライキの場合の應援に於て)

C. 今後の運動方針

以上の如き各産業部門に於ける客観

的形勢と労資の情勢解剖と我々の過去の運動の批判と総合の上に立つて、我等は次の方針に基いて今後一年間の運動を猛烈勇敢に經續すべしとこと、に明かにする。

- 一、集中の組織の充實
- (1) 支部組織の改革による中央集権の確立
 - (2) 組織部の充實と組織活動の統一
 - (3) 組織單位は工場に基礎を置くことを明確にすること
 - (4) 中央集権の完成と特別活動部門の充實のための会費を値上げすること。
- 二、教育的任務の確立
- (1) 大衆教育の任務は大衆の潜在的無意識的不満を意識的階級の不平